

景気動向調査結果

(平成27年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 27 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 27 年 5 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、458 社（製造業 236 社（うち面接 62 社）、非製造業 222 社）で、回答率は 65.4 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成27年4月の景気動向

1 総論

長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな回復基調が続いています。

製造業では、回復傾向にある設備投資や堅調な海外需要にけん引され、電機・電子、一般機械を中心に、受注、生産が回復しています。また、個人消費が緩やかに回復しつつあることを背景に、食料品等でも持ち直しがみられます。一方、自動車部品では国内向けの一部に弱さもみられます。また、円安に伴う原材料価格の上昇が続いています。

非製造業では、消費税率引き上げの影響があった前年同期と比べ、情報サービス業を除いた業種でいずれも改善がみられました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（26年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は1.7となり、前回調査時（27年1月）の△4.2より5.9ポイント改善しました。

3か月前（27年1月）と比較したD Iは5.9となり、前回調査時の△16.7より22.6ポイントと大幅に改善し、3期ぶりのプラス水準となりました。

なお、3か月後（27年7月）の予想では、D Iは0.4と、景気回復への期待感等から、前回予想の△1.2から1.6ポイント改善し、7期ぶりのプラス予想となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、スマートフォン向けの需要は引き続き堅調に推移しているものの、パソコン関連は弱含んでいます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、一部に受注、生産の減少がみられるものの、自動車関連向けや産業用途を中心に受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い受注、生産は順調に推移しています。建設機械は、国内向けは、受注、生産が堅調に推移しています。海外向けは北米やアジアを中心とした需要にけん引され、受注、生産が増加しています。

ウ 精密では、時計は高価格帯製品を中心に受注、生産が回復しています。レンズは、自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているほか、プロジェクター向けでは、高付加価値製品の受注、生産が持ち直しています。計器は自動車向けや産業機械向けなどで受注、生産の回復がみられます。

エ 自動車部品では、北米やアジア地域などの海外向けでは受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しているものの、原材料価格上昇等による収益率の低下がみられます。酒類は一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は季節的要因等により受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が32.6%と前回(31.4%)より増加し、「減少」とする企業が31.3%と前回(31.4%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回(0.0)より改善し、1.3となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が28.8%と前回(19.1%)より増加し、「減少」とする企業が18.9%と前回(32.2%)より減少した結果、D Iは前回(△13.1)より改善し、9.9となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が23.5%、「減少」とする企業が14.5%となった結果、D Iは前回予想(1.3)より改善し、9.0となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が31.8%と前回(34.2%)より減少し、「減少」とする企業が33.0%と前回(30.0%)より増加した結果、D Iは前回(4.2)より悪化し、△1.2となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が31.3%と前回(16.4%)より大幅に増加し、「減少」とする企業が20.2%と前回(34.5%)より減少した結果、D Iは前回(△18.1)より大幅に改善し、11.1となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が21.1%、「減少」とする企業が16.4%となった結果、D Iは前回予想(1.7)より改善し、4.7となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が12.4%と前回(11.0%)より増加し、「安い」とする企業が24.5%と前回(28.7%)より減少した結果、D Iは前回(△17.7)より改善し、△12.1となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が3.9%と前回(7.1%)より減少し、「安い」とする企業が12.0%と前回(9.7%)より増加した結果、D Iは前回(△2.6)より悪化し、△8.1となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が6.4%、「安い」とする企業が10.7%となった結果、D Iは前回予想(△12.2)より改善し、△4.3となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が7.1%と前回(7.4%)とほぼ同じとなり、「苦しい」とする企業が17.8%と前回(18.3%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△10.9)とほぼ同じ△10.7となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が6.7%と前回(4.3%)より増加し、「苦しい」とする企業が13.8%と前回(14.8%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△10.5)より改善し、△7.1となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.3%、「苦しい」とする企業が11.9%となった結果、D Iは前回予想(△8.7)より改善し、△6.6となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が18.0%と前回(23.8%)より減少し、「低下」とする企業が39.5%と前回(40.2%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△16.4)より悪化し、△21.5となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が12.5%と前回(7.1%)より増加し、「低下」とする企業が25.0%と前回(32.2%)より減少した結果、D Iは前回(△25.1)より改善し、△12.5となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が10.7%、「低下」とする企業が21.8%となった結果、D Iは前回予想(△15.0)より改善し、△11.1となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) スマートフォン向けの需要は引き続き堅調に推移しているものの、パソコン関連は弱含んでいます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加等により受注、生産が堅調に推移しています。
- (半導体関連) デジタル家電向けでは、需要の減少により受注、生産の減少が続いているものの、自動車関連向けや産業用途では受注、生産が堅調に推移しています。
- (プリント基板) 情報機器ではスマートフォン向けで、海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 家電向けの一部で、好調な海外需要により受注、生産が持ち直しています。自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、エネルギー関連向けでは受注、生産が減少しています。
- (モーター等) 家電向けの一部では、新興国等での好調な需要により受注、生産が増加しています。産業用途や自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しています。
- (その他) カーナビゲーションは、海外向けでは円安に伴う輸出環境の改善や、北米で続く好調な需要により受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い受注、生産は順調に推移しています。
- (金 型) 自動車関連向けは、新型車向けを中心に受注、生産に持ち直しに向けた動きがみられます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産が堅調に推移しています。海外向けは北米やアジアを中心とした需要にけん引され、受注、生産が増加しています。
- (農業用機械等) 国内向けの一部では季節的要因により、海外向けは北米での好調な需要により、それぞれ受注、生産の回復がみられます。

精 密 (時 計)	腕時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産が回復しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているほか、プロジェクター向けの高付加価値製品の受注、生産が持ち直しています。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けなどで受注、生産の回復がみられます。LP ガスメーターは、季節的要因により受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	北米やアジア地域などの海外向けでは受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。
食 料 品 (味 そ)	季節的要因により3か月前と比べ受注、生産が増加しているものの、原材料価格上昇等による収益率の低下がみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。
(飲 料)	季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により3か月前と比べて受注が増加しているものの、円安の影響などによる収益率の低下がみられます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因等により一部では需要が増加しているものの、原材料価格等の上昇を背景に、収益率の低下がみられます。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しているものの、季節的要因等により受注、生産ともに増加しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産が堅調に推移しています。

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、情報サービス業を除いた業種でいずれも改善がみられました。

前年同期（26年4月）と比較したD Iは $\Delta 2.2$ となり、前回調査時（27年1月）の $\Delta 41.6$ から39.4ポイントと大幅に改善しました。

3か月前（27年1月）と比較したD Iは $\Delta 3.2$ となり、前回調査時の $\Delta 40.0$ と比較すると36.8ポイントと大幅に改善しました。

なお、3か月後（27年7月）の予想は、D Iは $\Delta 16.2$ と前回調査時の $\Delta 20.7$ と比較すると4.5ポイント改善する見通しです。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況は、マイナス水準ながらも売上高D Iが持ち直したことから、D Iが $\Delta 12.5$ となり、前回（ $\Delta 23.3$ ）より改善しました。

3か月後は、人手不足による労務費の上昇や受注競争の激化が懸念されるものの、業況D Iは横ばいで推移する見通しです。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況は、D Iが28.6となり、前回（57.1）より28.5ポイント低下しました。

年度初めとなる4月は業務量が比較的落ち着く傾向もあり、受注件数D Iや売上高D Iがやや低下したものの、業況D Iはプラス水準が続いています。3か月後は、人件費の上昇などから収益率の低下を懸念する企業もありますが、業況D Iは引き続きプラス水準を維持する見通しです。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況は、D Iが $\Delta 3.4$ と前回（ $\Delta 52.2$ ）より大幅に改善しました。

小売業では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があった前年同期と比べ、マイナス水準ながらも客数D I、売上高D Iともに持ち直し、業況D Iは改善しました。3か月後は、慎重な消費者態度を懸念する企業が多く、業況D Iは低下が予想されます。

卸売業では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があった前年同期と比べ、客数D I、売上高D Iともに改善し、業況は3期ぶりにプラス水準となりました。3か月後は、価格競争が続いているものの、業況D Iは横ばいで推移する見通しです。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況は、D Iが5.5と前回（ $\Delta 28.6$ ）より大幅に改善し、5期ぶりにプラス水準となりました。

飲食業では、消費税率引上げ直後の影響があった前年同期と比べ、売上高D Iはマイナス水準ながらも持ち直しました。一方、3か月後は、慢性的な人手不足に加え、食材仕入価格の上昇から、業況D Iは低下が予想されます。

宿泊業では、善光寺御開帳などにより客数D I、売上高D Iともに改善したことから、業況D Iは大幅に改善し、5期ぶりにプラス水準となりました。一方、3か月後は、一部では北陸新幹線の延伸に伴う宿泊客の増加が期待されているものの、慢性的な人手不足や食材などの仕入価格の上昇から、業況D Iの低下が予想されます。

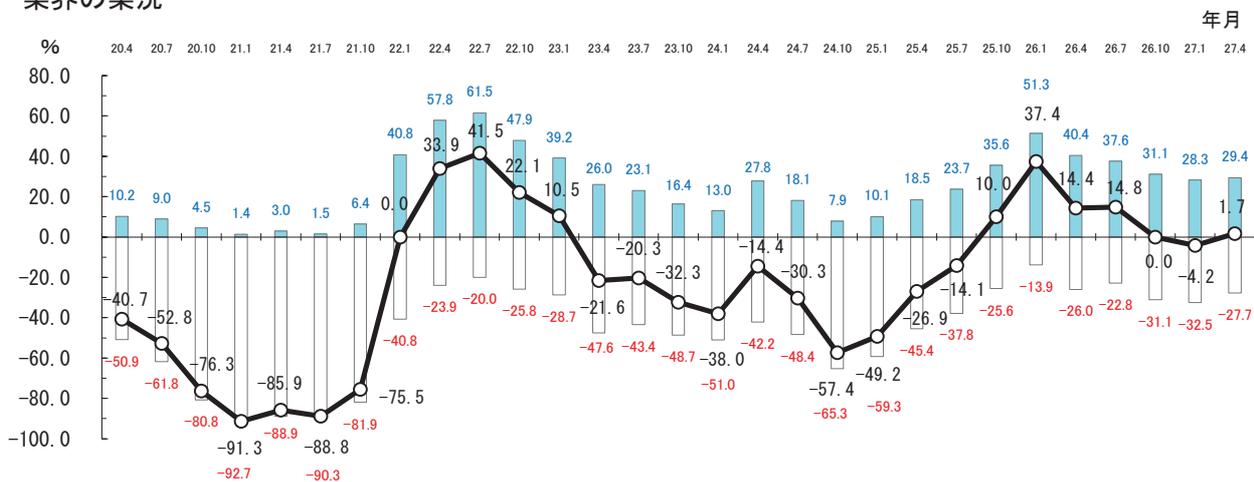
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

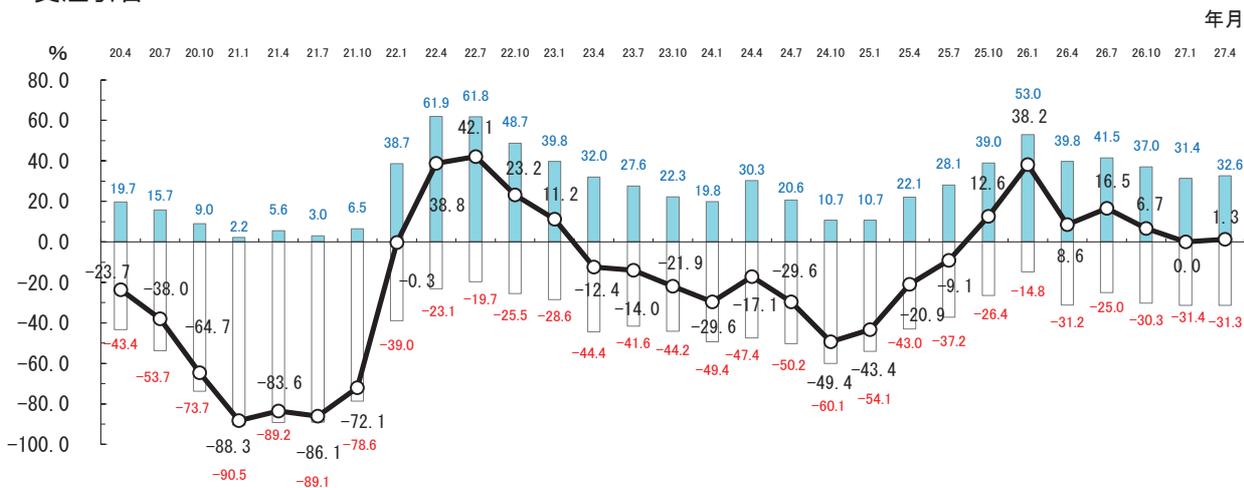
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

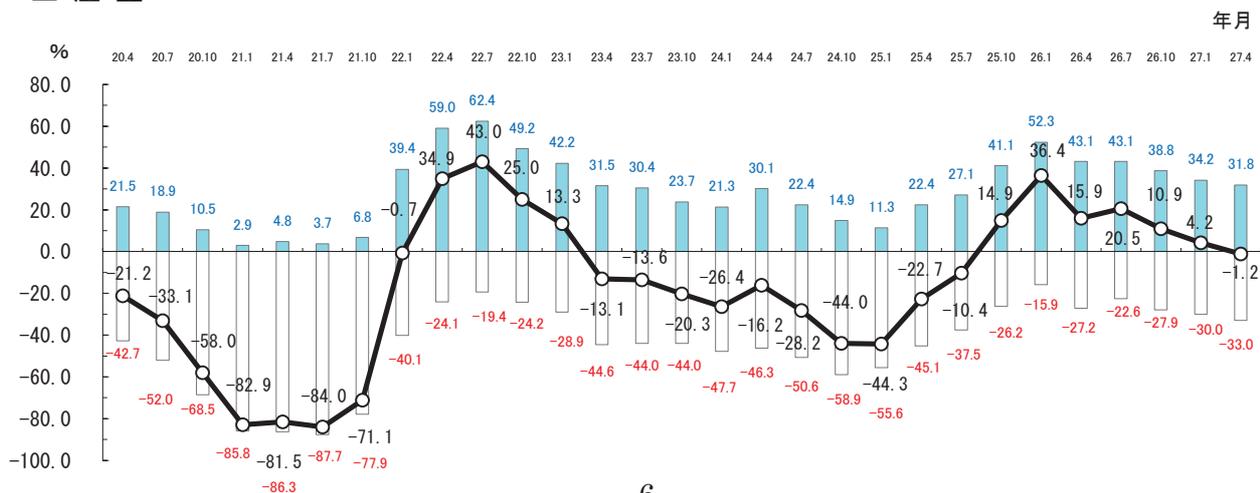
業界の業況



受注引合

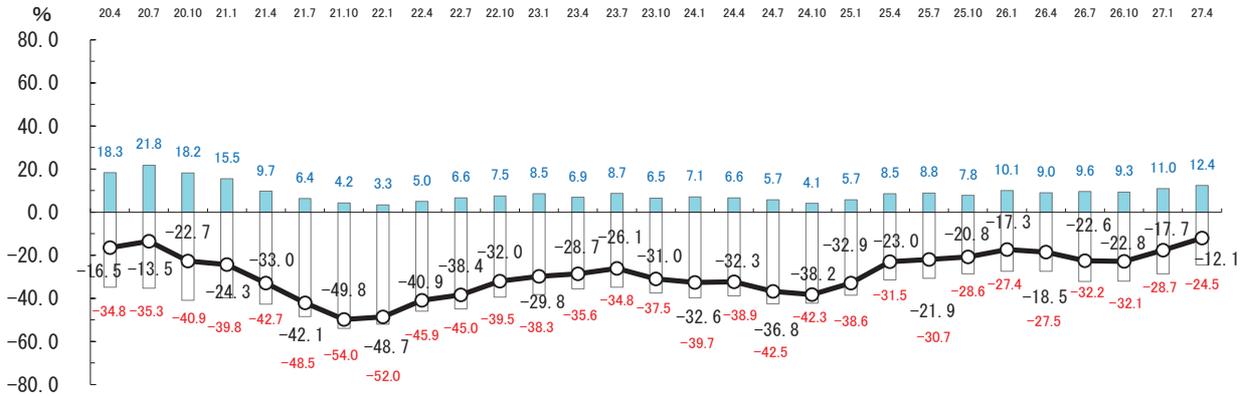


生産量



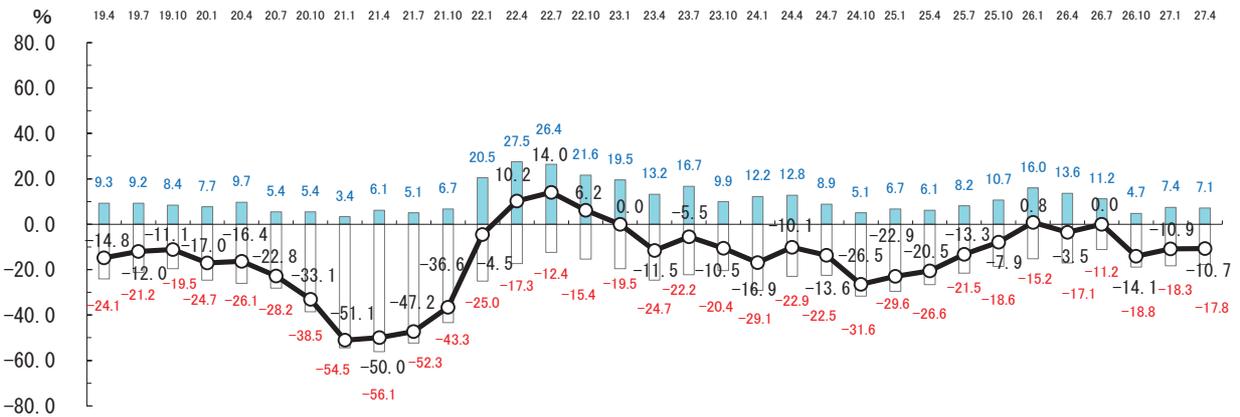
製品販売価格

年月



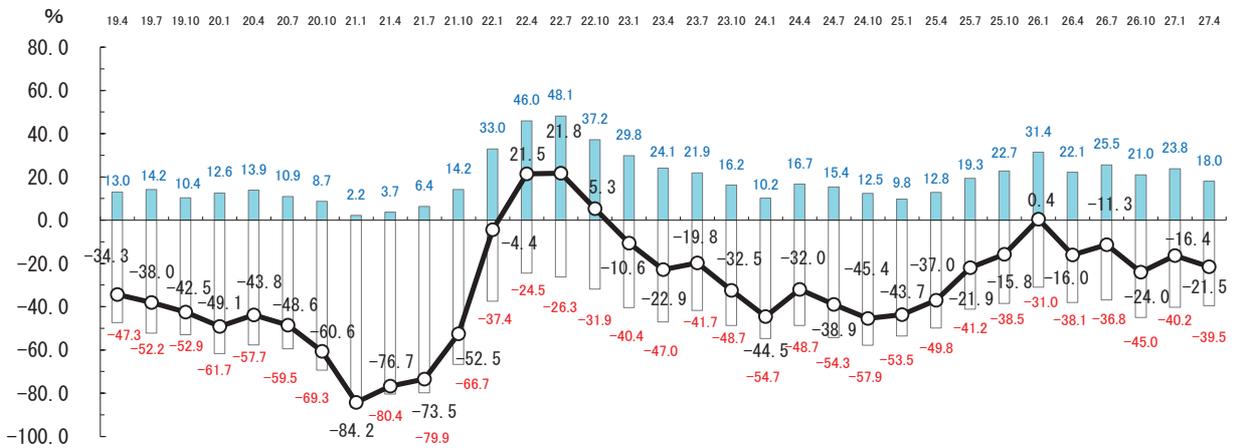
資金繰り

年月



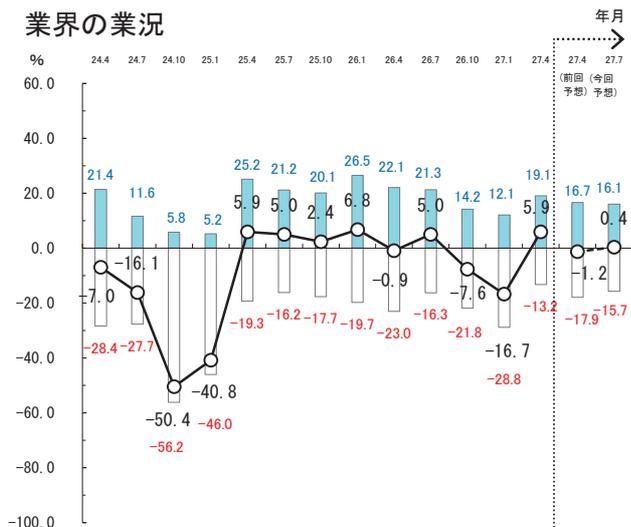
収益率

年月

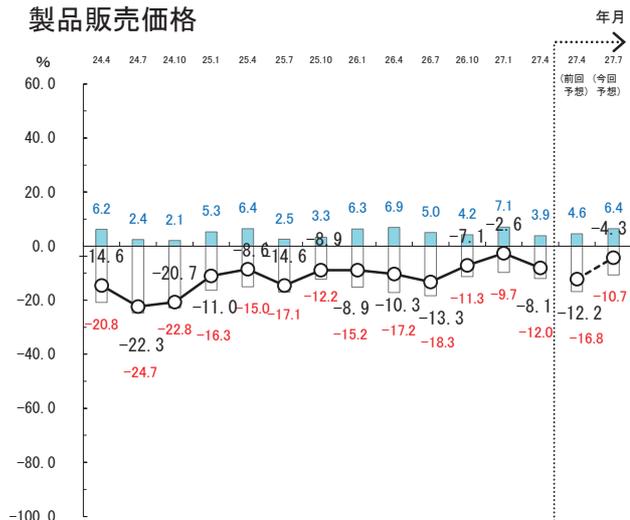


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

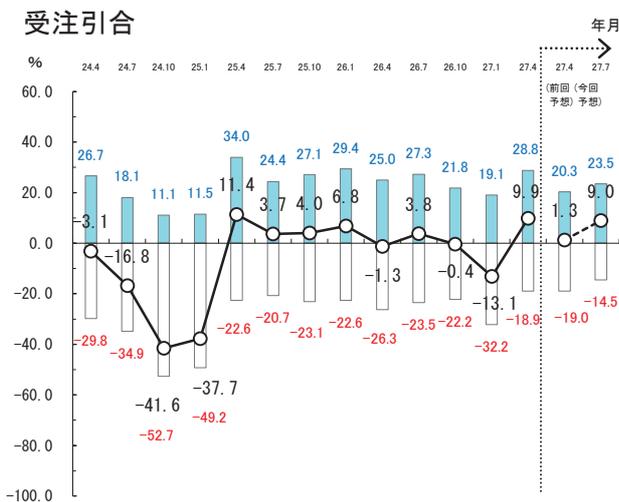
業界の業況



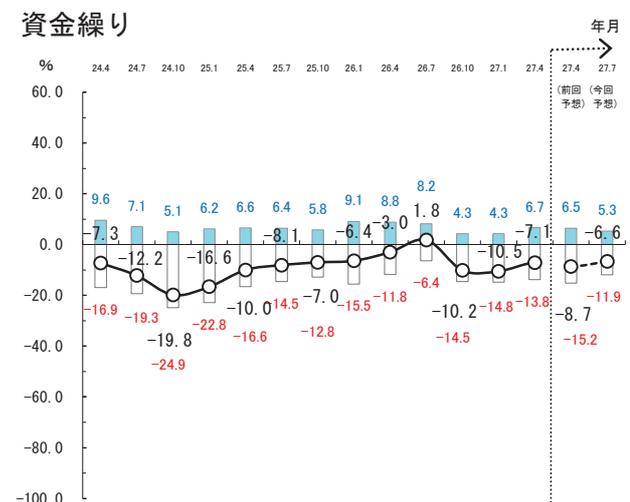
製品販売価格



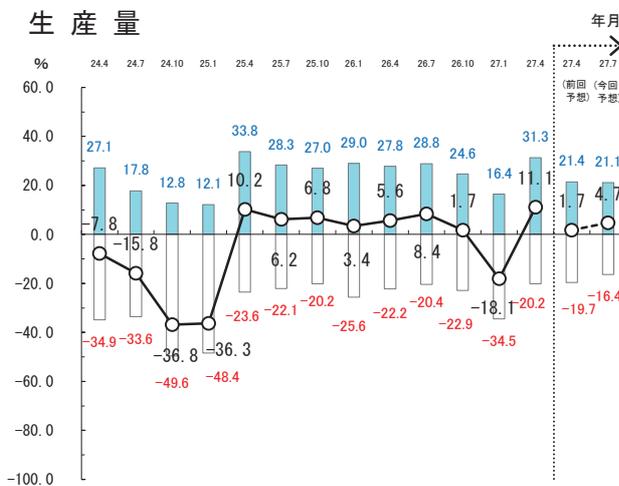
受注引合



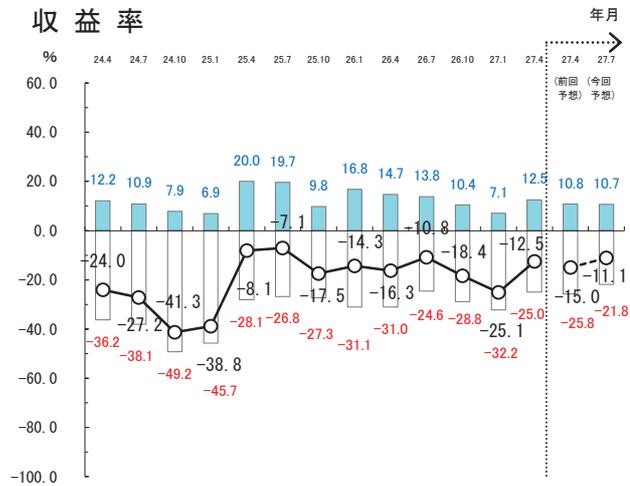
資金繰り



生産量



収益率

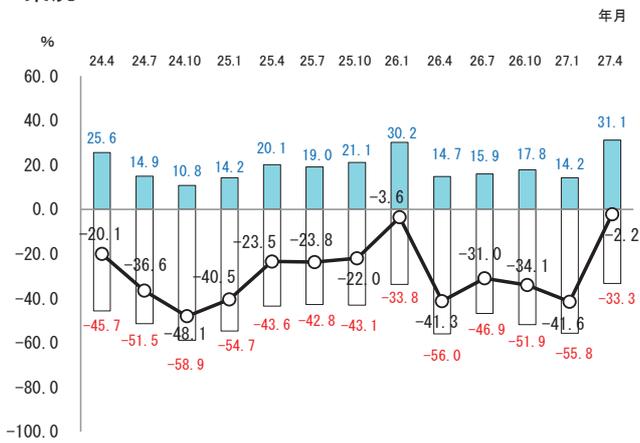


2 非製造業

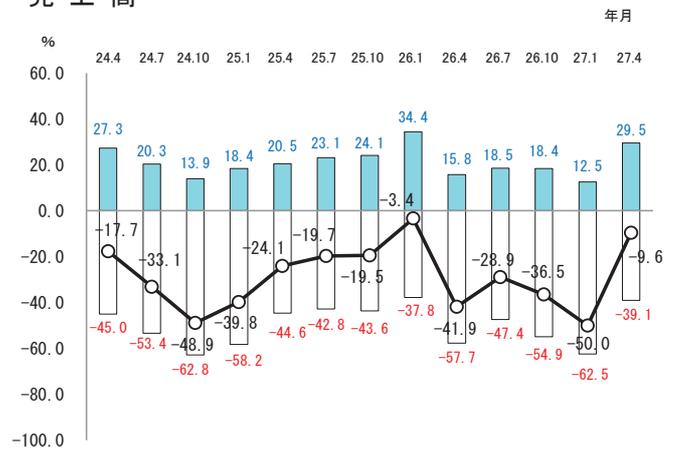
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

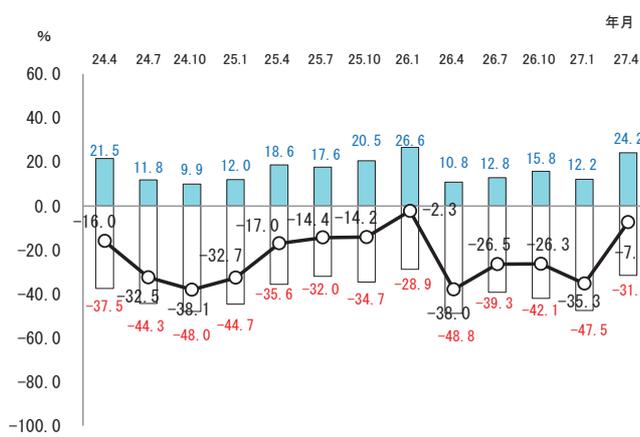
業況



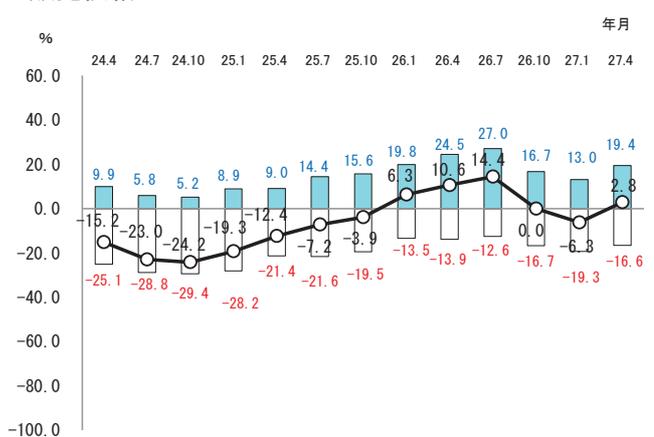
売上高



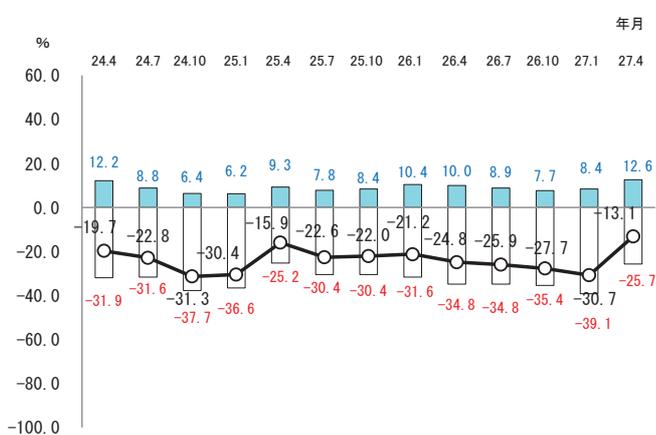
客数 (受案件数)



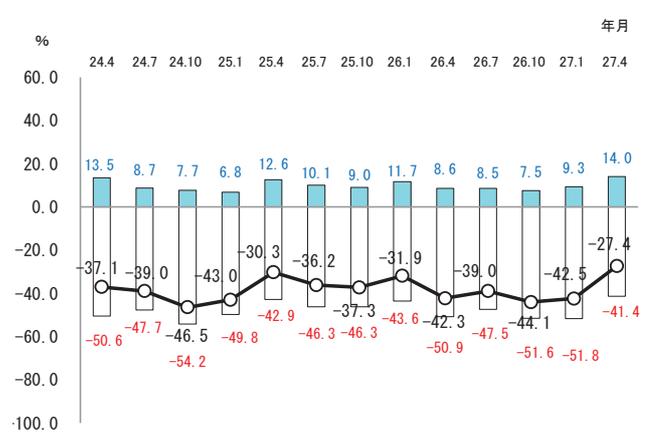
販売価格



資金繰り

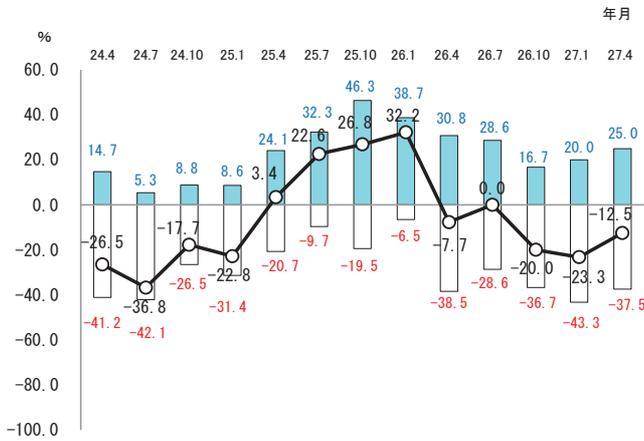


収益率

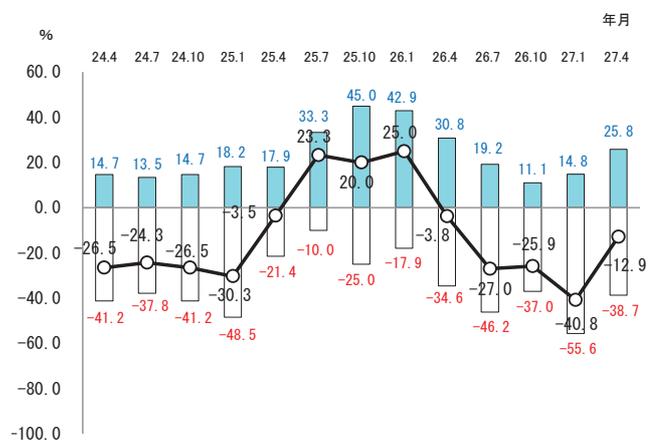


ア 建設業

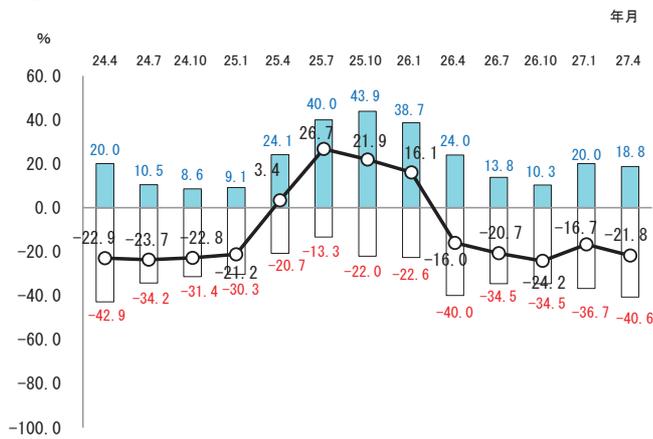
業況



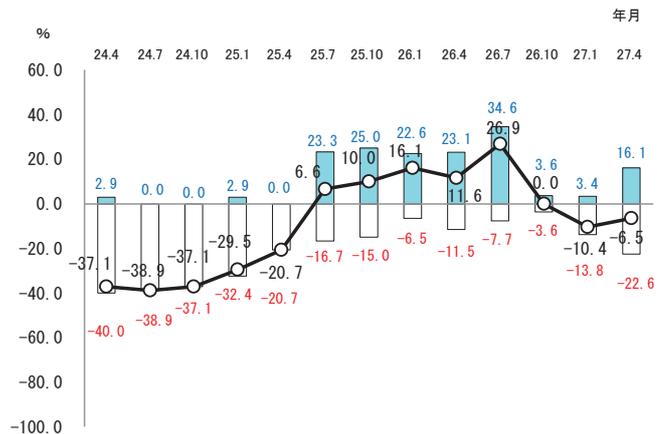
売上高



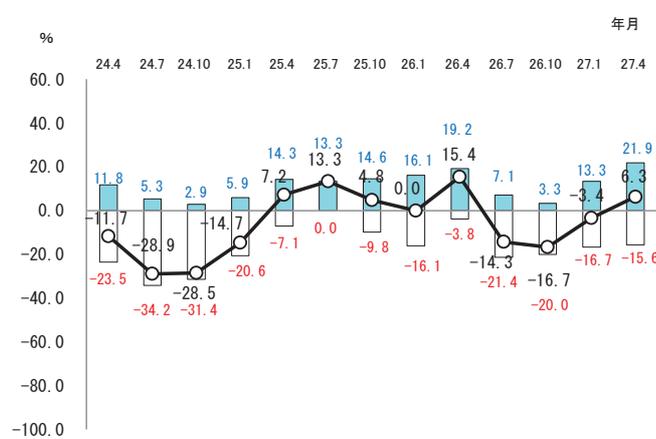
客数 (受案件数)



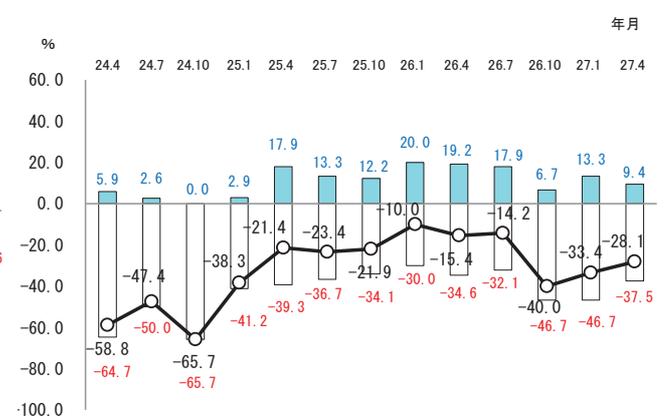
販売価格



資金繰り

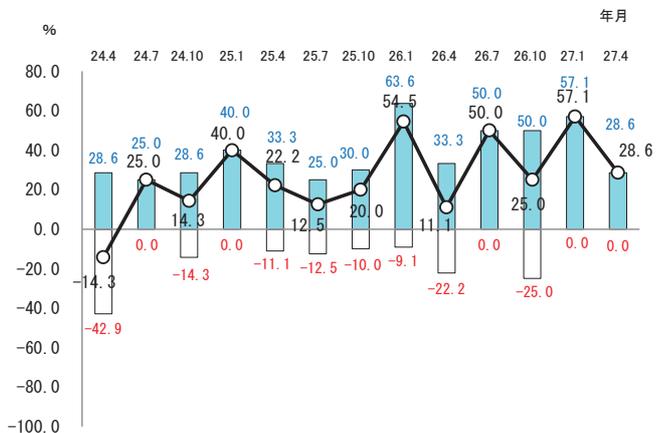


収益率

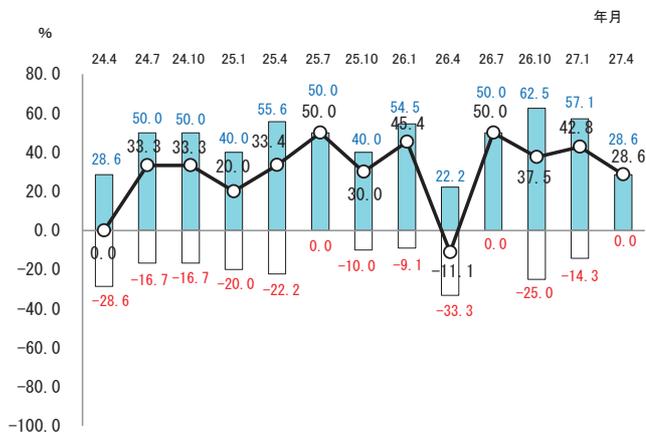


イ 情報サービス業

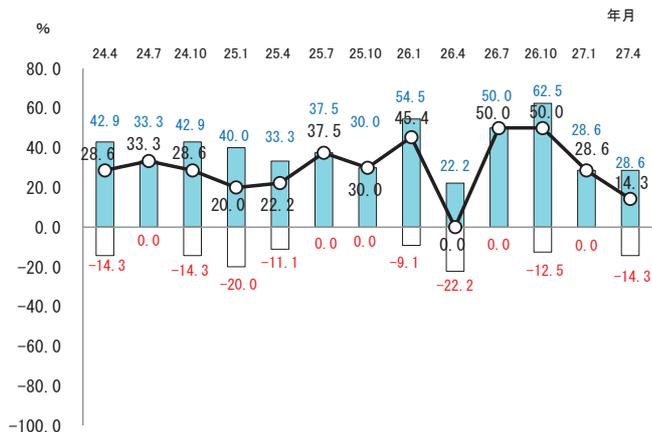
業況



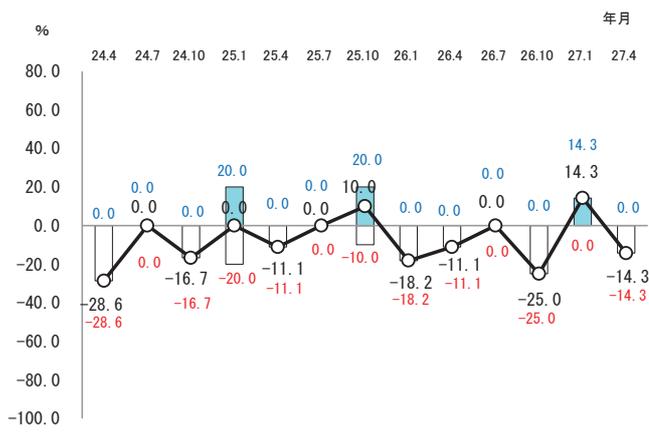
売上高



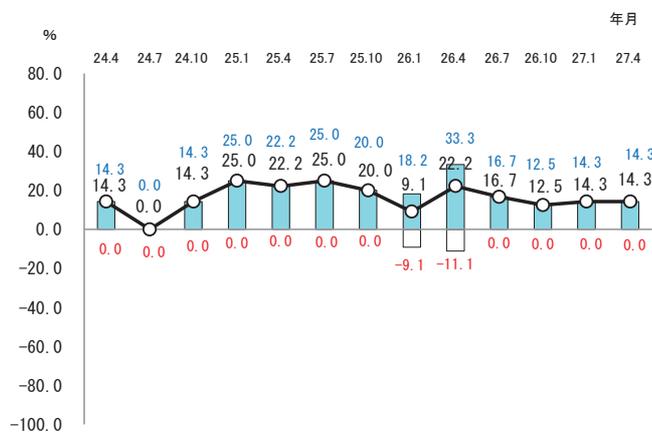
客数 (受案件数)



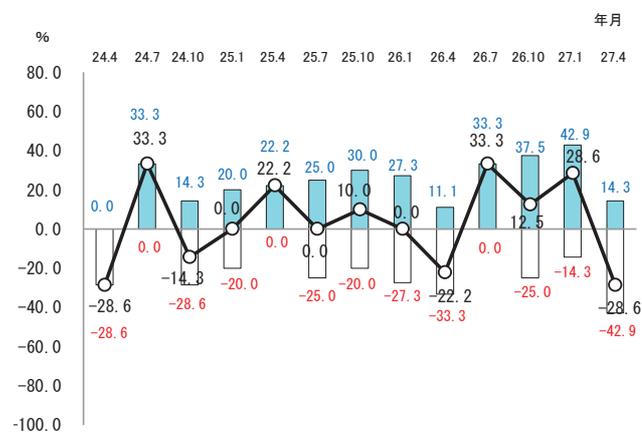
販売価格



資金繰り

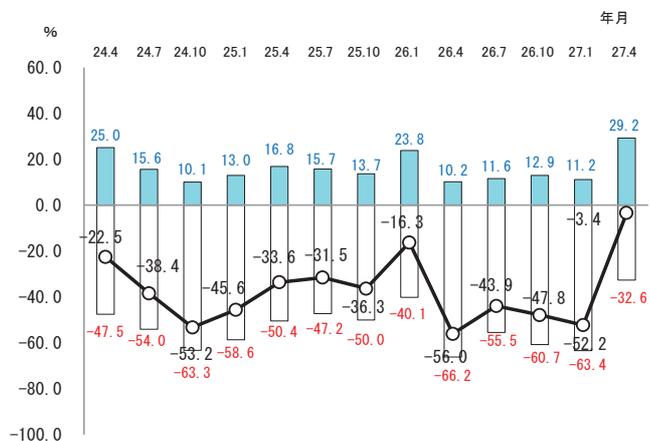


収益率

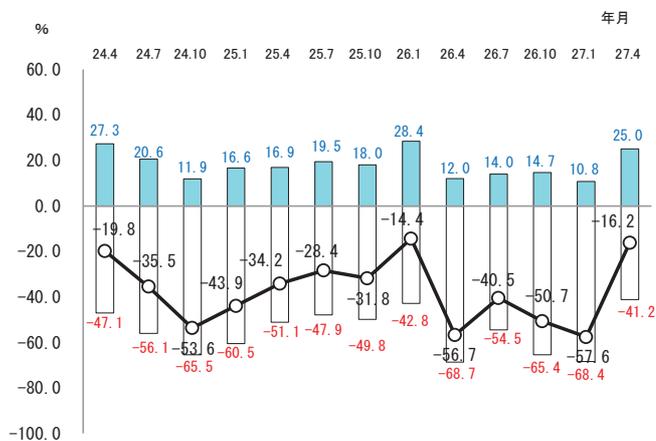


ウ 小売業・卸売業

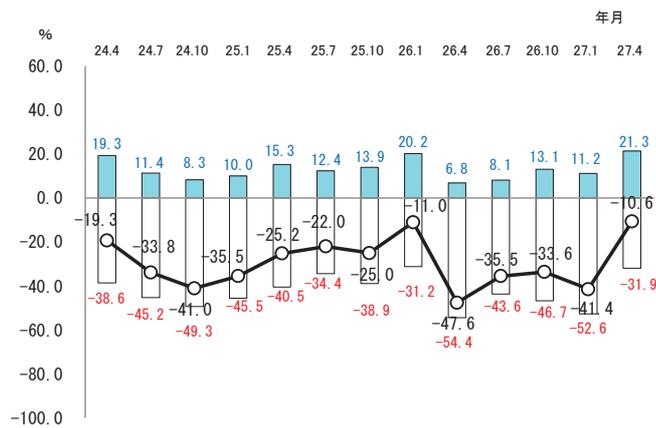
業況



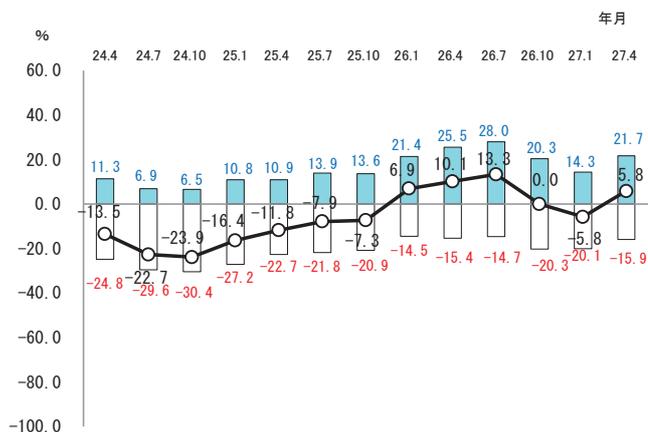
売上高



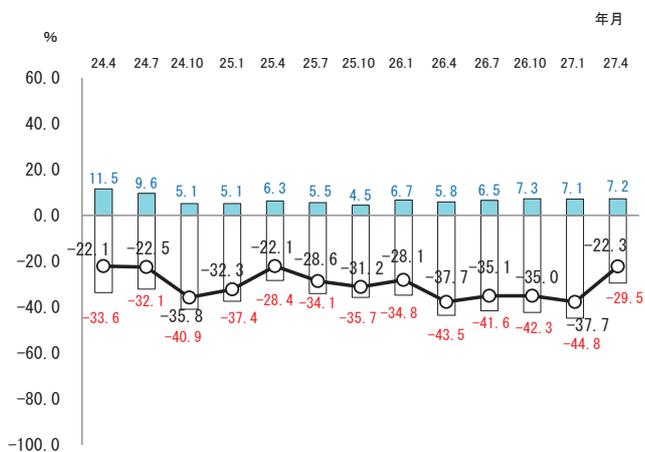
客数 (取引先数)



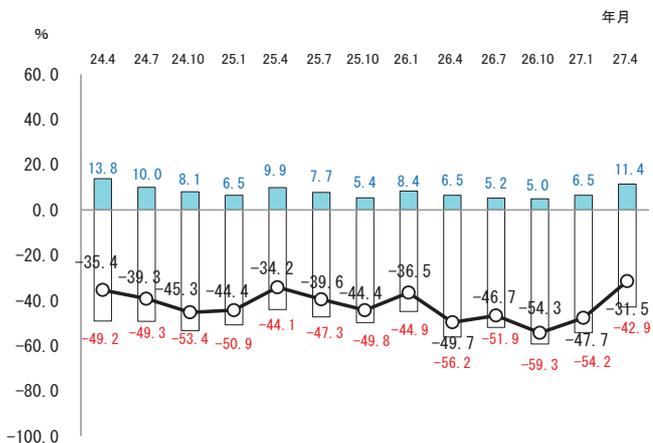
販売価格



資金繰り

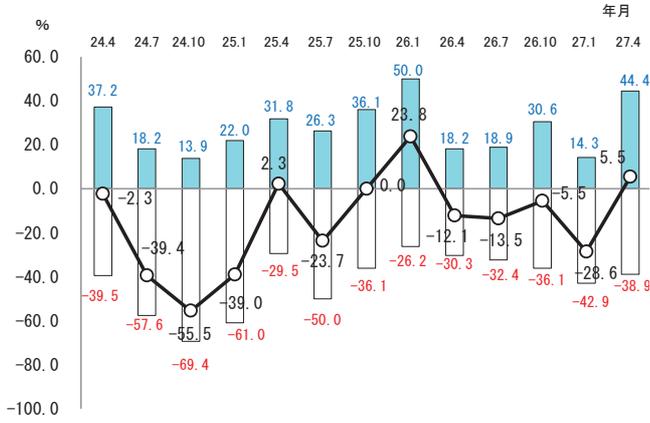


収益率

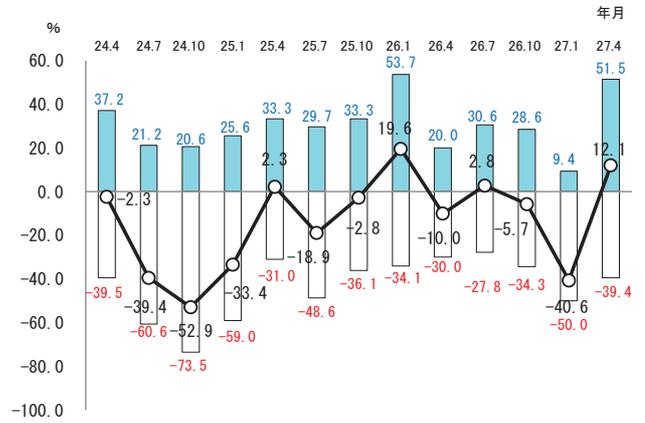


工 飲食業・宿泊業

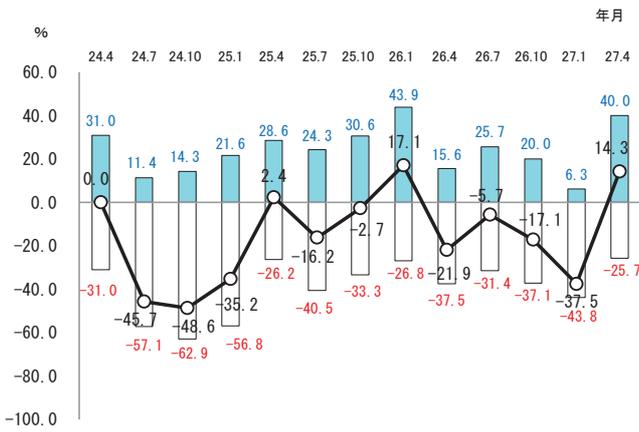
業況



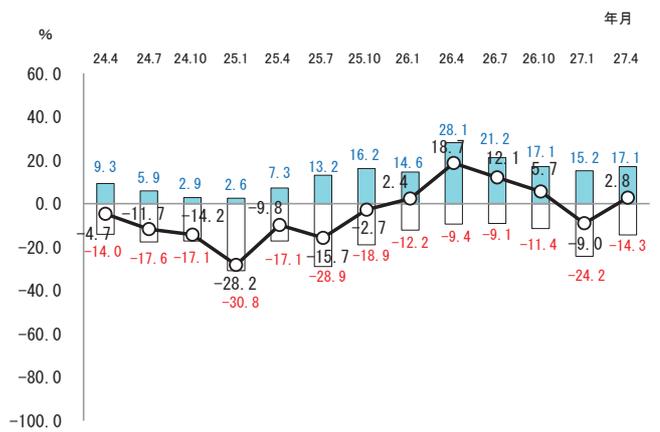
売上高



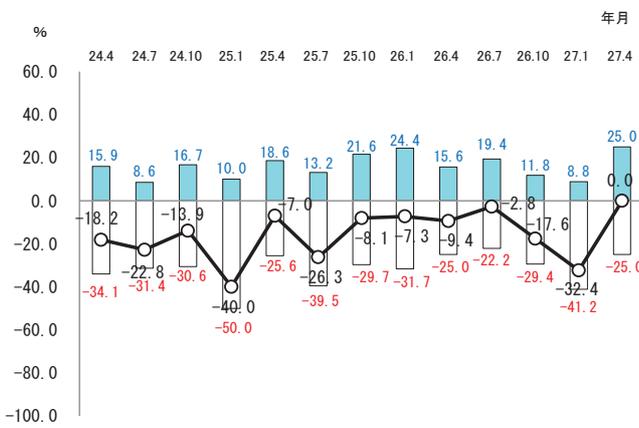
客数



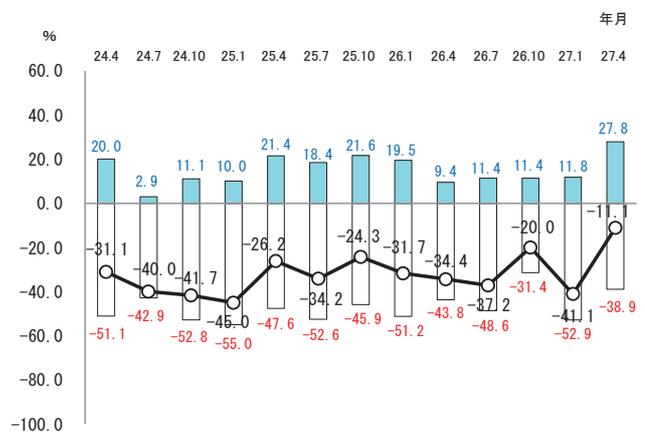
販売価格



資金繰り



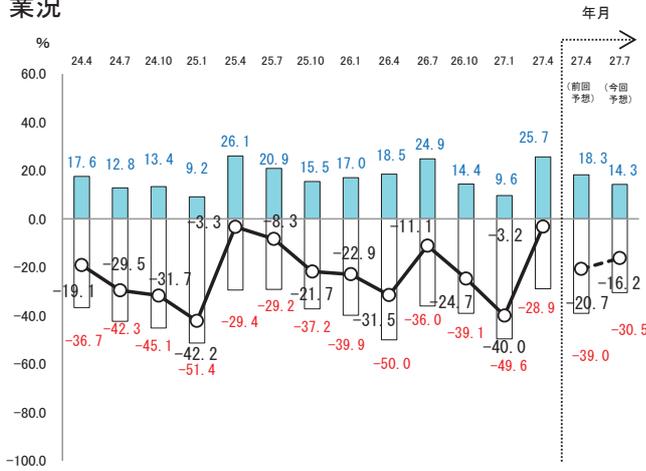
収益率



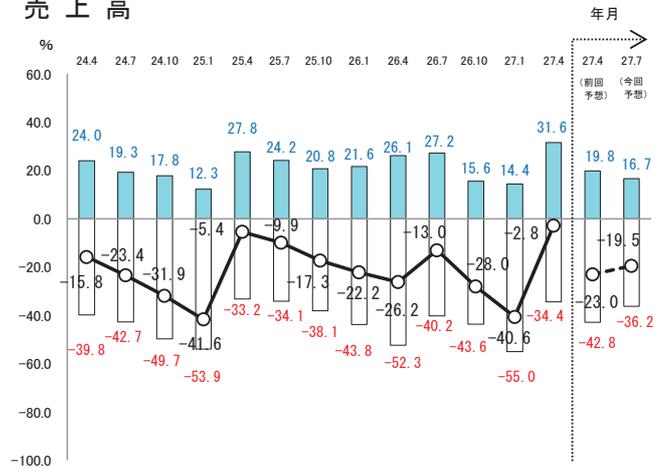
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

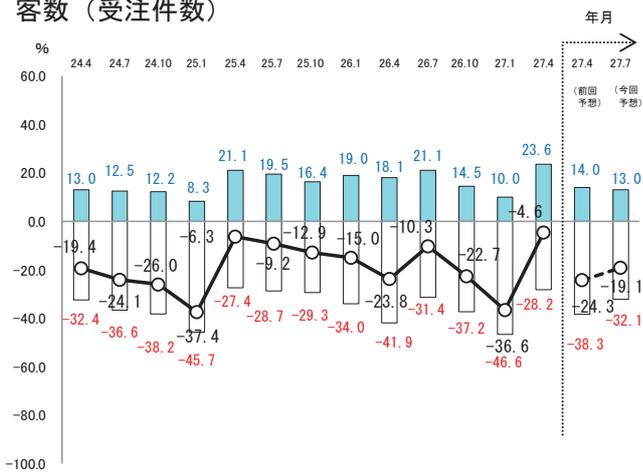
業況



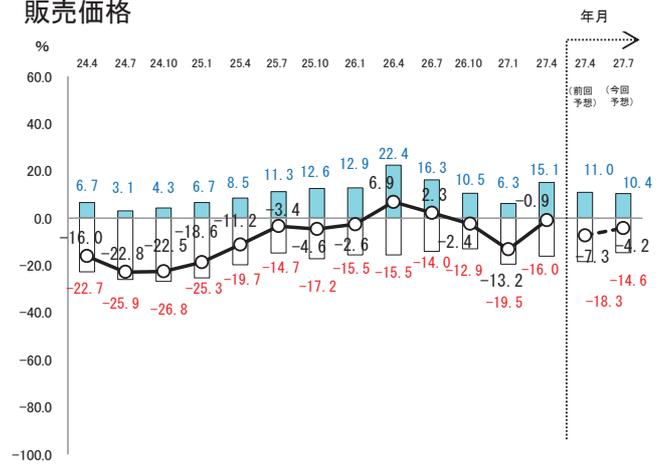
売上高



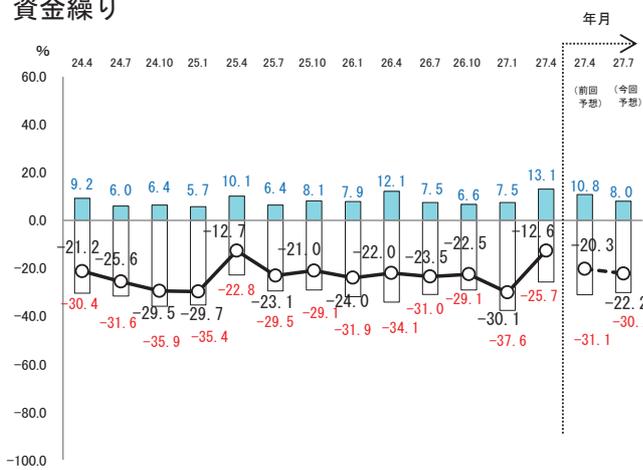
客数 (受注件数)



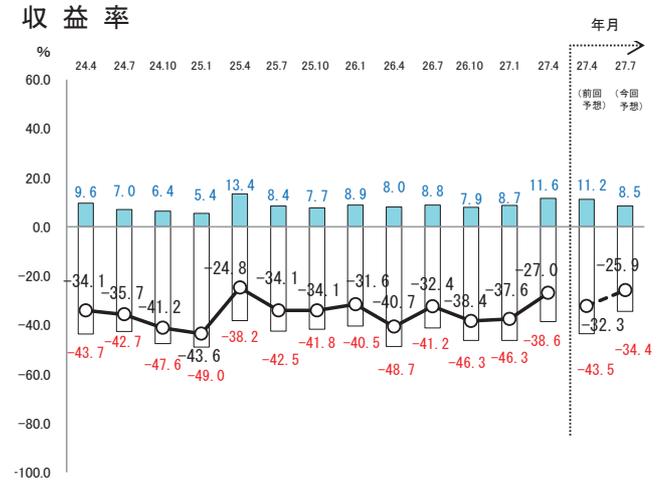
販売価格



資金繰り

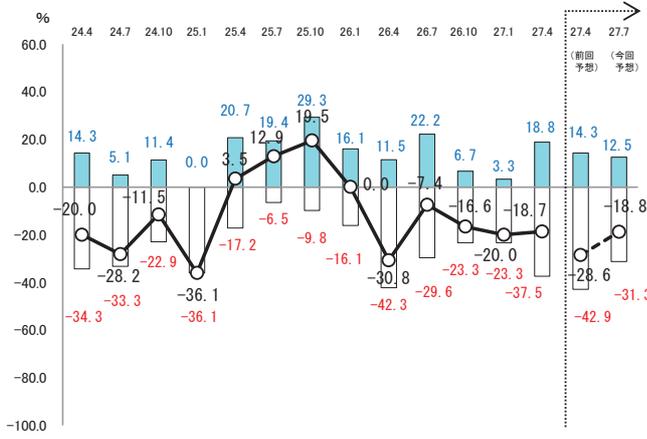


収益率

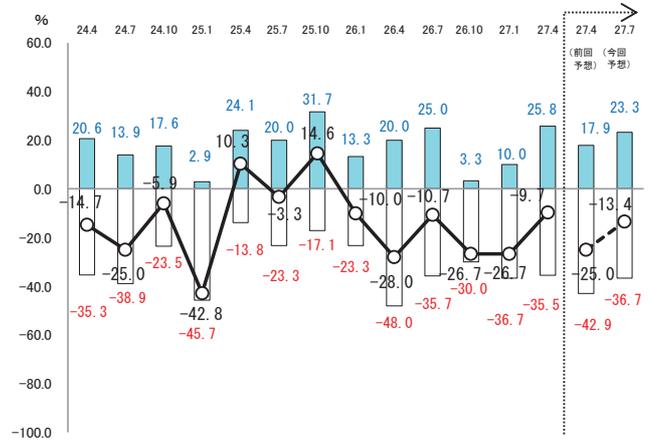


ア 建設業

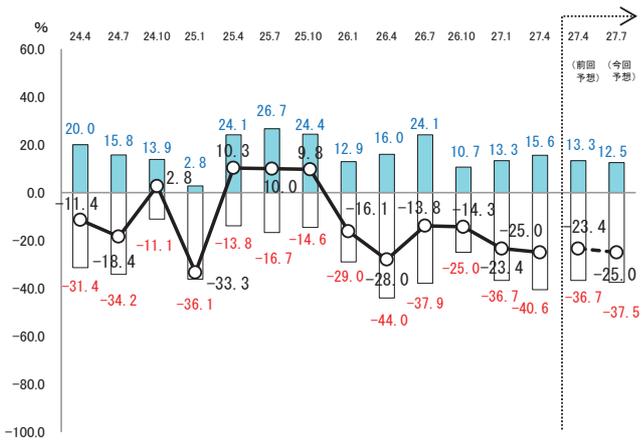
業況



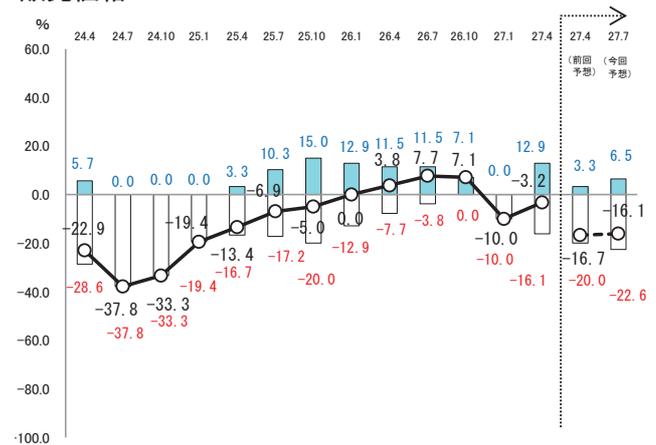
売上高



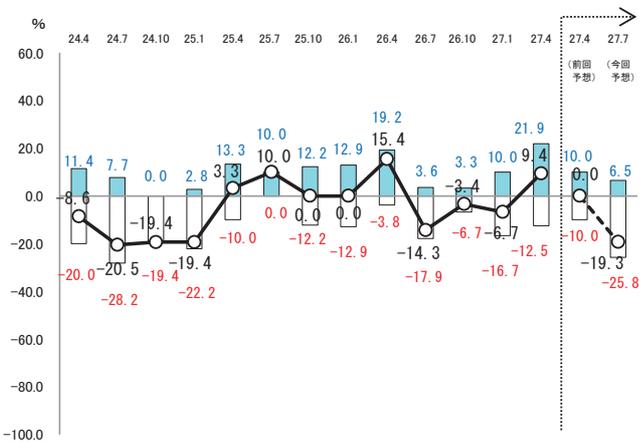
客数 (受注件数)



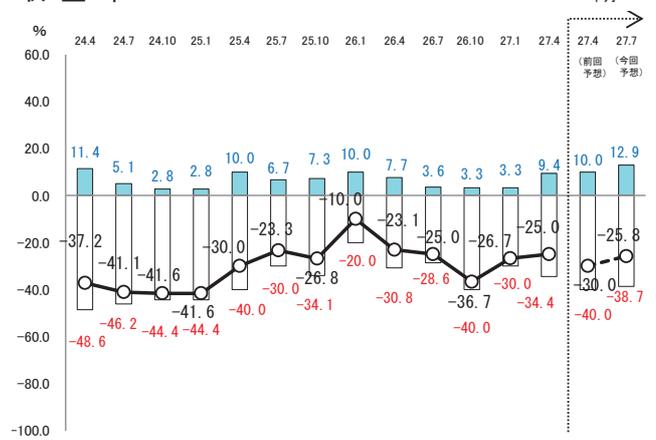
販売価格



資金繰り

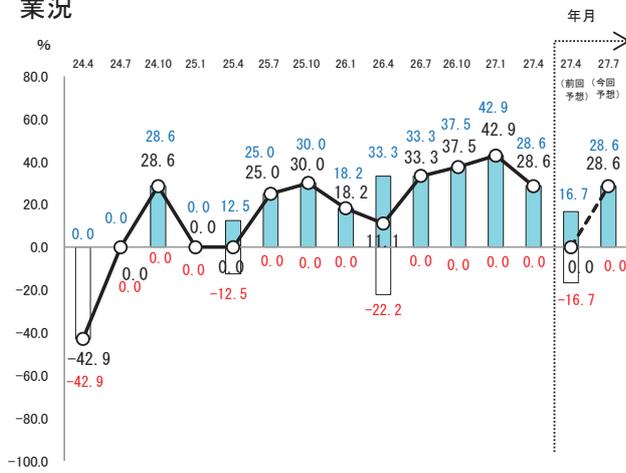


収益率

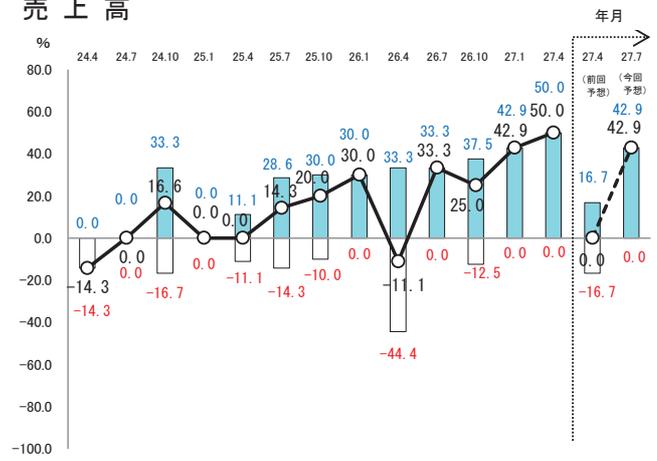


イ 情報サービス業

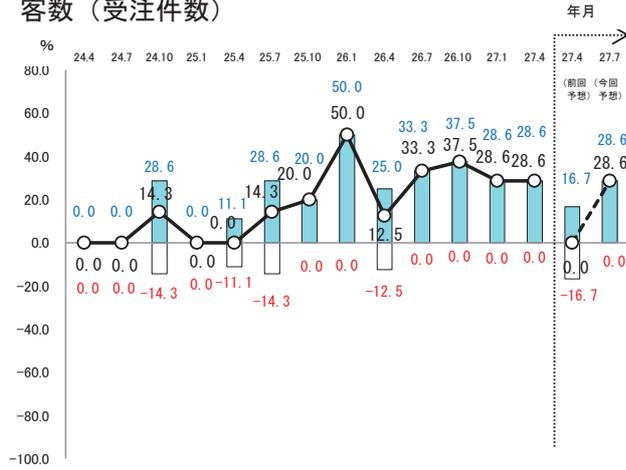
業況



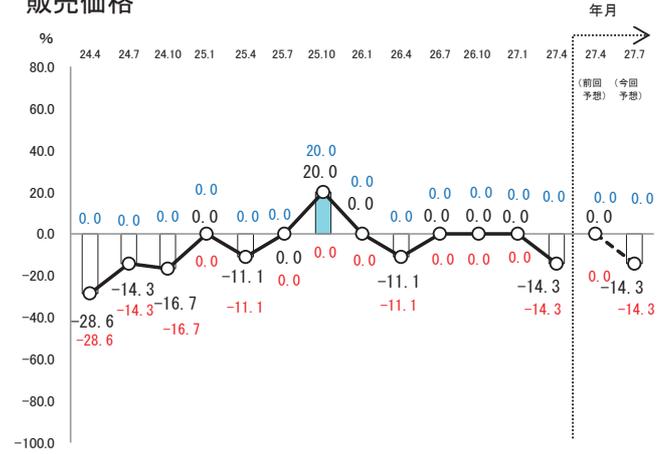
売上高



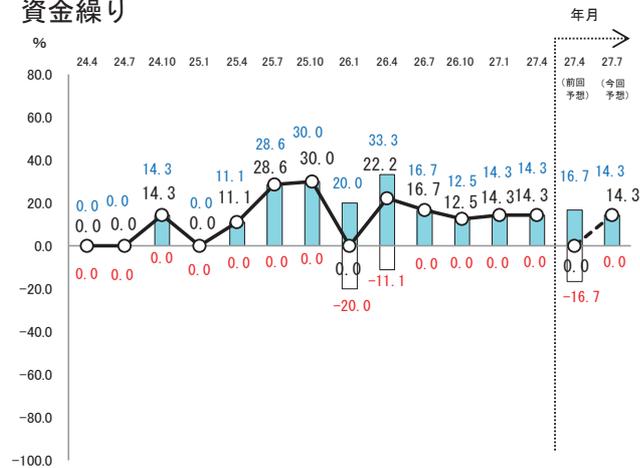
客数 (受注件数)



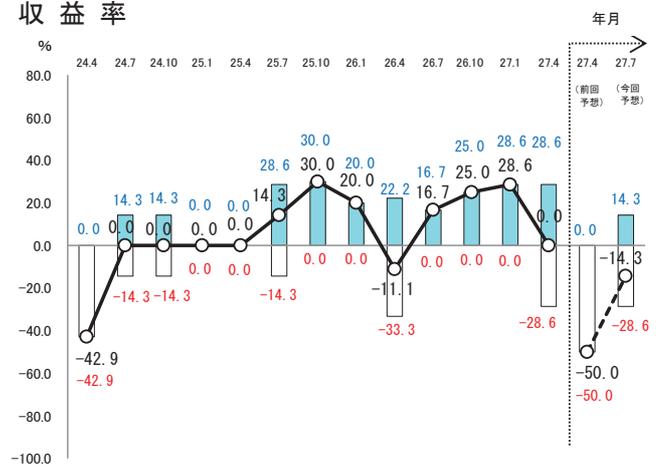
販売価格



資金繰り

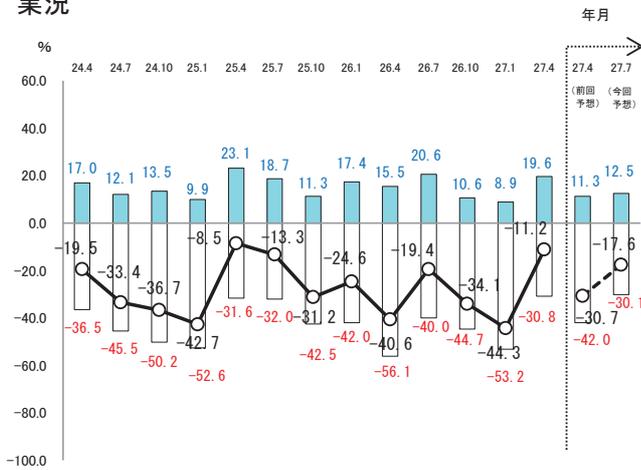


収益率

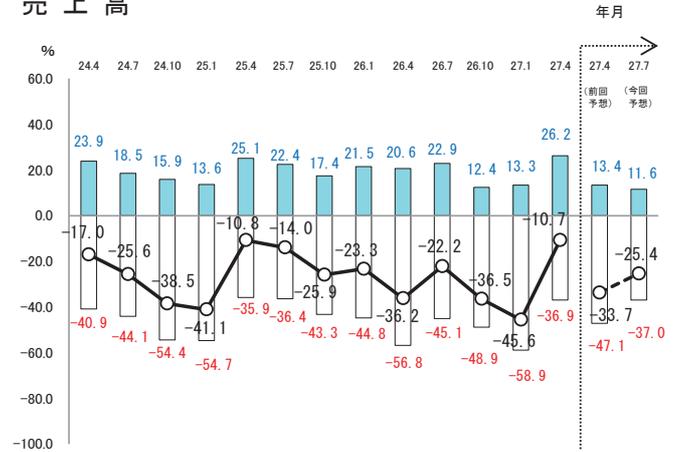


ウ 小売業・卸売業

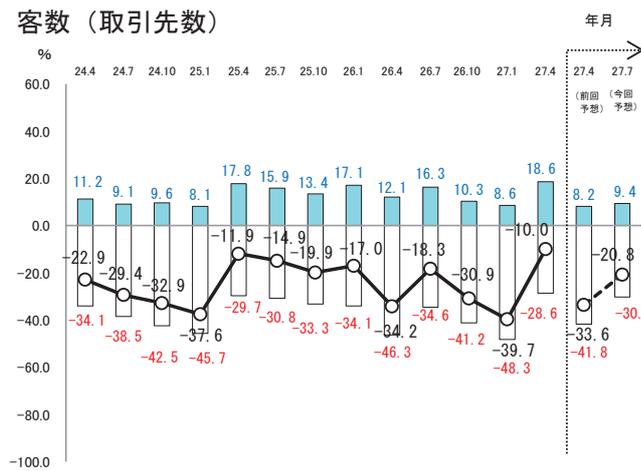
業況



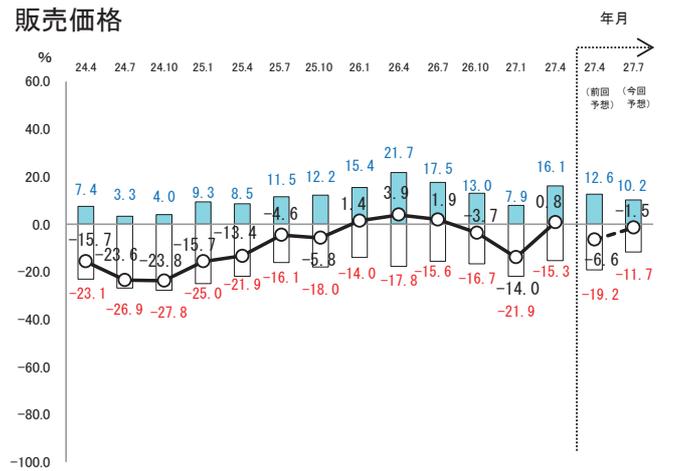
売上高



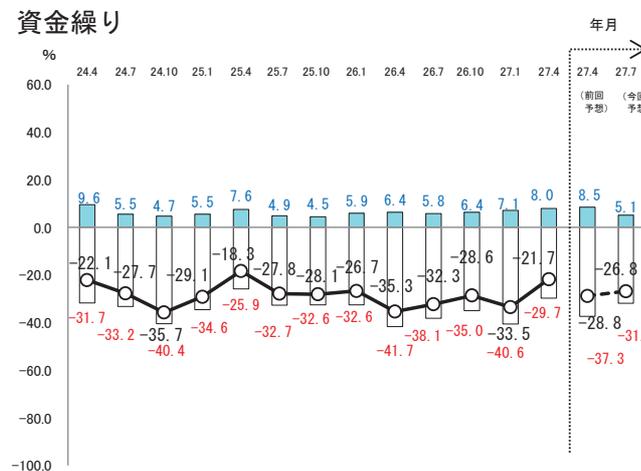
客数 (取引先数)



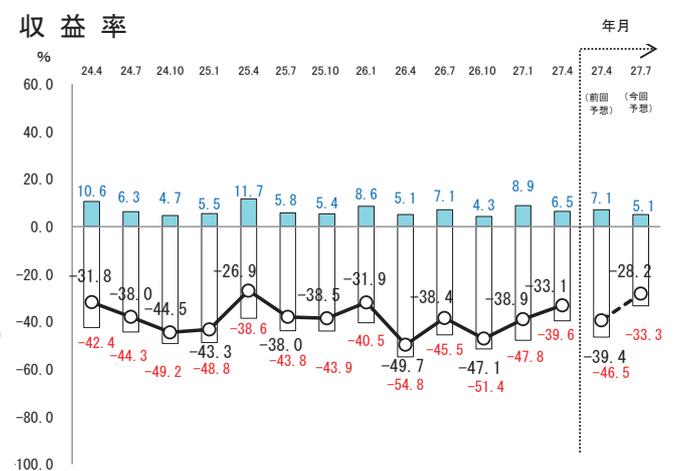
販売価格



資金繰り

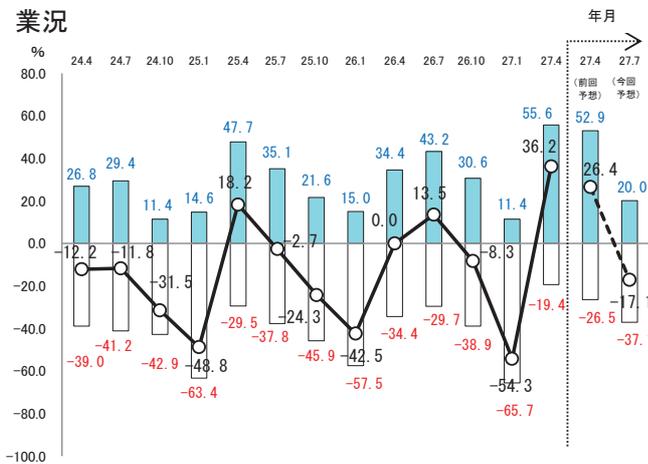


収益率

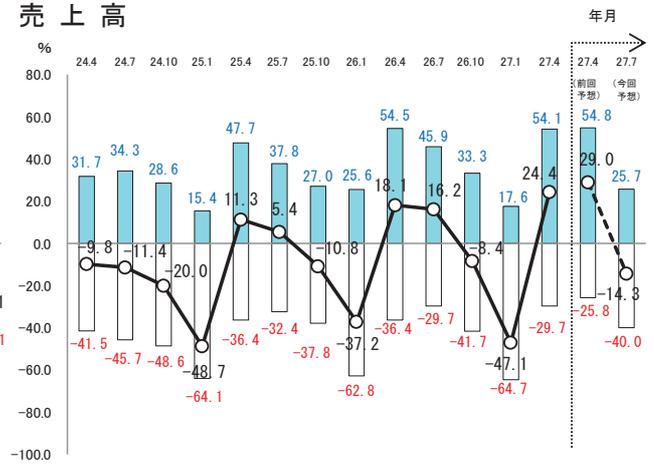


工 飲食業・宿泊業

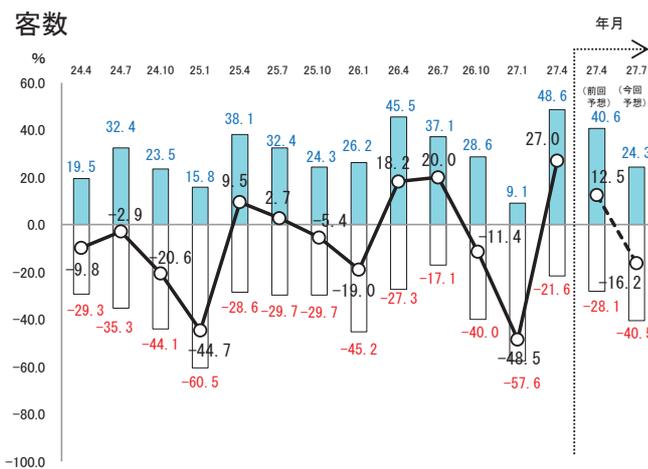
業況



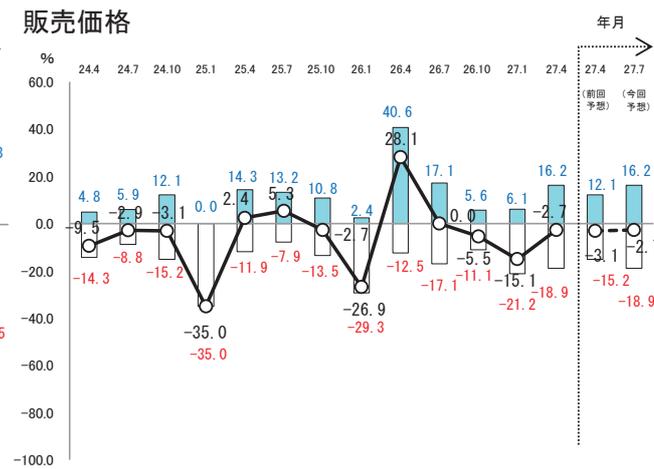
売上高



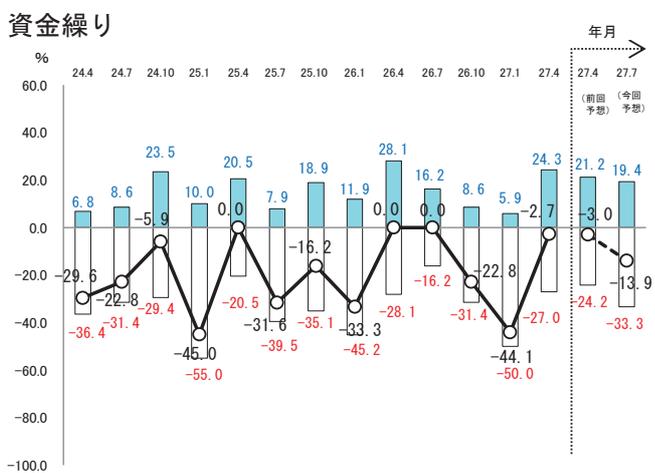
客数



販売価格



資金繰り



収益率

